

各大学におけるESDへの取組み状況とユネスコスクール等に対して
提供可能な支援措置に関するアンケート調査 回答票

学校名 金沢星稜大学

ホームページ：<http://portal.seiryu-u.ac.jp/>

担当者

(職名) 金沢星稜大学総合研究所・地域連携センター課長

(氏名) 春本裕雄

(連絡先) E-mail：harumoto@seiryu.jp

電話/Fax：076-253-3984/076-253-3998

(注) 本調査を補完するような資料がある場合には、必要に応じ添付してくださるようお願いいたします。

1. 各機関における既存の活動

(1) ESDに関連する学内教育活動について、講義名、対象学生の種別等をご記入ください。

番号	講義名	担当教員名	概要
1	特殊講義「国際ボランティア」	清水和久	2単位、対象：2年生以上のこども学科 受講者数15人 グローバル社会の進展と共に、世界で活躍できるに人材が求められています。しかし、それは外国との経済活動のためだけではなく、現地の人達と共に共感できる力が必要となってきます。本講義では日本が力を入れている発展途上国への支援の実情を知り、現地の人々にとって必要なことは何か、自分たちでできることを考えます。 小学校における国際交流学習としての事例を挙げ、その効果を考えます。 そのほか、また国際ボランティアに関する知識を獲得し、最終的には国際ボランティアに参加することもねらいとしています。

(注) 概要欄には、講義のESDとのかかわり、認定単位数、修了要件への該当、受講者の種別、受講者数等を記載する。

(2)ESD に関連する研究活動について、ご記入ください。

清水和久の学会などでの発表

○日本国際理解教育学会 (2012)

第22回研究大会 研究発表抄録 「成果共有型国際交流学習における単元設計と評価」

○金沢星稜大学人間科学研究 第5巻2号 (2011)

ESDとしての国際交流学習の展開の可能性

(3)ESDに関連する地域貢献活動について、ご記入ください。

①初等中等教育へのESD教育支援活動が行われている場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

・出前授業等の教員・学生による専門的知見の提供があれば記述してください。

対象 (高校、中学校、小学校、幼稚園・保育園、その他)

文部科学省の初中教育ニュースメールマガジン第228号にも取り上げられている「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」について毎年石川県から参加する10校余りの学校のサポートを行っている。

(内容)

- ・参加校の教師を集め、月1回大学において研究会の開催し、進行の支援
- ・各校でTV会議を行う時には、機器などのサポートに伺う
- ・大学生の参加校サポート。翻訳支援。導入授業でのワークショップの実施

2012年度の実績 小学校6校

昨年度 四十万小、額小、花園小、浅野川小、泉野小、小丸山小、富来小、

*以下メールマガジン228号の内容

□【お知らせ】2013年度「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」の参加校募集
〔国際統括官〕

ジャパンアートマイルが実施している「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」(文部科学省・外務省後援事業)は、日本の子どもたちが海外の子どもたちとインターネットを活用して共通のテーマで協働学習を行い、学習の成果を絵に表して1枚の壁画(1.5m×3.6mの大型絵画)を共同制作するプロジェクトです。

持続可能な発展をテーマに世界の同世代とともに学び合う本プロジェクトは、ESDの実践として有効なプログラムです。また、小学校の学習指導要領の外国語活動に示された「外国語を用いてコミュニケーションを図る」、「異なる文化を持つ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深める」学習としても有効です。

アートマイルは、国語、生活、社会、図工・美術、外国語・英語、情報などのどの教科でも取り組むことができるため、総合的な学習の探究学習に適したプロジェクトです。既に自校で取り

組んでいる総合的な学習のテーマで相手校と協働学習を行うと無理なくプロジェクトを進めることができます。半年にわたる協働学習には、自己紹介に始まり段階を追って進んでいく枠組みがあり、教師はその枠組みの中で自らの学習の狙いに合わせて自由に授業設計をすることができます。そして、国際協働学習の成果として大きな壁画を一緒に完成させるという明確なゴールがあるため、そこに向かう学習活動に必然性があり、児童生徒の学習意欲が持続し、教師が狙いとする様々な力を育てることができます。

しかし、国際協働学習の成果として海外の学校と一つの作品を作るというのはかなりハードルが高い学習です。そこで、ジャパンアートマイルでは、初めて参加する教師でも容易にプロジェクトを実施できるように様々なサポートを提供しています。

[募集期間] 2013年4月1日（月曜日）～ 5月31日（金曜日）

[実施期間] 2013年9月～2014年3月

[実施対象] 全国の小学校・中学校・高等学校の児童生徒

[募集数] 100校

- ・小中学校等の学校と共同で学生が実施する活動があれば記述してください。
(例えば街路のゴミ拾い等)

ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」

外国への関心を持ってもらう為に、大学生が小学校に出かけて行き、開発教育のワークショップを行っている。2012年度実践 小学校5校

- ・ESD推進に資する教材開発があれば記述してください。
開発された教材：

- ・ESDを選択できるような社会人向け（大学院）コースはありますか？
ある場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

- ・ ESDを対象とする教員免許状更新講習科目があれば記述してください。

金沢星稜大学 免許更新講習 小学校講座B 清水分担1時間

「ESD分野における国際交流学習の必要性」一国際共同壁画制作プロジェクトを通して一

②ESD分野でのその他の地域貢献活動はされていますか？

例：公民館や博物館等との連携活動

金沢市内の学校を中心にアートマイルプロジェクト参加校への支援を行っている。

2. 上記以外で今後、各機関が提供できるESD分野のサービス

- ・ 専門的知見の提供・教員への助言（例えば防災教育、国際理解教育等）
- ・ 出前授業
- ・ 教材の提供
- ・ (〇〇分野の) カリキュラムの共同開発 等

上記のようなサービスを提供されている場合、具体的に記述してください。

3. 各機関におけるESDの持続性を支援するための体制

- ・ 例えば教員研修（FD）、職員研修（SD）を活用した学内におけるESDの周知方策

4. ESD分野での他大学との連携

5. その他の関連活動

アンケートへのご協力大変有難うございました。